

登録団体よりご案内

石巻市ファミリーサポート事業 協力・両方会員初回登録講習

現在石巻市では、地域で子育てをサポートする会員組織「石巻市ファミリーサポート事業」において、協力会員(お子さんを預かることができる会員)・両方会員(お子さんを預かることも預けることもできる会員)を募集しています。本講習を受講すると協力・両方会員に登録ができます

- 日時:2021年3月22日(月)9:40~15:30
- 会場:ファミリーサポートセンター事務局(石巻信用金庫総合相談センター4F)
- 参加費:無料 ○定員:8名

- 対象:
①石巻市在住 ②20歳以上 ③心身ともに健康
④子育て支援に興味がありお子さんを安全に預かることができる。※資格は問いません
⑤現在ファミリーサポートの利用会員で、今後両方会員として援助を行うことができる方
- 持参するもの:筆記用具・飲み物

○問・申込み:石巻市ファミリー・サポート・センター事務局
TEL:0225-23-7407 FAX:0225-24-6878
メール:famisapo.ishinomaki@gmail.com
※申し込み締切…3/19(金)
(メールの場合、タイトルに「3月22日初回講習受講」、本文に氏名、連絡先を記載)



石巻市NPO支援オフィスより

NPO・市民活動団体のための オンライン会計初級講座

会計の考え方から、帳簿の付け方、伝票の整理方法など、会計・経理担当者が最低限知っておきたい会計の基礎知識を学びましょう。仙台の講師と東松島、石巻の会場をオンラインでつないで開催します!
☆会場への参加が難しい場合は、直接Zoomでの参加も可能です。
講師:小野恵子さん(会計サポーター)

- 日時:2021年3月17日(水)13:30~15:30
- 場所:東松島市蔵しっくパーク 定員15名(東松島市矢本字北浦25番地)
- 石巻市NPO支援オフィス 定員12名(石巻市泉町三丁目1-63)



- 参加費:無料 ○持ち物…筆記用具、電卓
- 対象:石巻圏域で活動するNPO・市民活動団体、町内会等の会計初任者、再確認したい方、これから会計を担当する方など

○お問合せ:みやぎNPOプラザ 電話:022-256-0505

○お申し込み:
会場を受講される方は、参加会場にお申し込みください。Zoomでの参加をご希望される方は、みやぎNPOプラザにお申し込みください。
蔵しっくパーク 電話:0225-84-2011
メール:hitomachi@kurappa.jp

石巻市NPO支援オフィス 電話:0225-23-3641
メール:centerishinomaki@gmail.com

東日本大震災追悼 3.11のつどい

東日本大震災から10年、追悼の思いを込めて開催します。

「がんばろう!石巻」看板会場(石巻南浜津波復興祈念公園内)追悼式
14:15 追悼行事 14:46 黙祷 黙祷後バルーンリリース
16:30 キャンドル点灯 23:00 終了

かどのわき町内会会場
14:46 黙祷 黙祷後バルーンリリース
17:00 キャンドル点灯 19:00終了



○日時:2021年3月11日(木)9:30~23:00
(献花台は終日設置) 当日、YouTubeで追悼式を配信します。

【灯籠へのメッセージ・灯籠づくりワークショップ】
3月6日(土)7日(日)多目的スペース K-BOX(石巻市南中里三丁目12-18)

【当日の市民ボランティア】
3月11日(木)9:30集合 灯籠制作・会場設営
3月12日(金)9:30集合 撤収作業
市民ボランティアに参加・協力いただける方は、「がんばろう!石巻」の看板前にお集まりください。(コロナ対策のため、基本石巻地域にお住まいの方)

○問・申込み:東日本大震災追悼3.11のつどい実行委員会
電話:0225-23-9638/090-3643-1910(黒澤)
メール:gannbarou@ic-net.or.jp
※感染拡大状況によっては、市民ボランティアの募集を中止する場合があります。
詳しくは「がんばろう!石巻の会」Facebookをご確認ください。

やっぺす!活動報告会in石巻

石巻の現状とやっぺす10年の歩み、復興住宅での支援活動報告、やっぺす!と協働する企業、団体による活動発表
☆オンライン(Zoom)参加もOKです!

- 日時:2021年3月13日(土)13:00~15:30(開場12:00)
- 場所:飛翔閣(石巻市山下町1丁目19-6)
- 料金:10,000円(令和3年度やっぺす会員費、資料、お土産代込み)
- オンライン参加の方は5,000円(会員費、資料代込、お土産なし)
- 対象:被災地復興や地方創生などに興味のある方

○問・申込み:特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク事務局(担当 たかはし、かねこ)
電話:0225-23-8588 メール:info@yappesu.jp

編集後記

いつもんぼん舗を読んで下さり、ありがとうございます。今回は初の試み!ということで、二つ折り会報誌にチャレンジしてみました。今後も不定期で、やってみようと思います!!

情報を掲載したい方、紹介したい団体様は、随時下記の連絡先までお問い合わせください☆

石巻市NPO支援オフィス
電話:0225-23-3641(担当:渥美)
メール:centerishinomaki@gmail.com



ポツ

210号

2021年2月

[発行元]

石巻市NPO支援オフィス
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63
TEL・FAX 0225-23-3641
MAIL:centerishinomaki@gmail.com
http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/
開館時間:月~金 10:00~20:00
土曜日 10:00~18:00
日曜・祝日休館日

毎月25日発行

NPOや市民活動に役立つ情報をお届けします。みなさまからの情報提供もお待ちしております。



登録団体 取材報告

1月27日(水)石巻キャリア教育推進ネット主催の元、青葉中学校一年生約70名を対象とした「働く人に学ぶ」と題した出前講座が開催されました。この企画は、新型コロナの影響で本来学ぶべき時間や経験の場が少ないことを心配していた教頭先生の思いから、実現に繋がったそうです。

飲食、福祉、ものづくり、公務員…など多職種の社会人講師10名が集まり、9つの教室に分かれ、一人約50分2コマ、現在の仕事内容やこれまでの人生で学んだこと、大事にしていること…などを自身の経験をもとに話しました。子どもたちはひとつひとつに真剣に耳を傾け、時折、仕事内容に関する疑問や、生きていくうえで出てくる課題に対してどう対処しているのか?などの質問も聞かれました。

同団体事務局の千葉さんは「コロナの影響で、子どもたちは本来の体験ができていない。実際に社会人と深く関わる機会を作りたい。子どもたちはこれから生きていく中で大変な場面に遭遇する事もあると思うけれど、そんなとき講師の方々から学んだ時間や言葉を思い出してほしいと思った。出ていただいた社会人の皆さんは、尊敬して信頼している人たち。前向きに仕事をしている社会人のことを伝えたい。」とお話してくださいました。

☆スタッフ渥美もお声を頂き社会人講師として参加させていただきましたが、子どもたちがすぐまっすぐに聞いてくれたのでとても嬉しかったです。また、相手と同じ目線に立って話すことの難しさを改めて痛感したので、今後仕事をしていく上でも意識していきたいと思いました。



助成金情報

(公財) ポーラ伝統文化振興財団 助成事業

日本の無形の伝統文化の保存・進行をはかるため、伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で、保存・伝承・振興活動および調査・研究活動において、有効な成果が期待できる事業に対し、補助的な援助を行います。

○募集期間:2021年3月31日(水)まで

○応募資格:
・個人、団体のいずれも申請することができます。(但し、一個人、一団体ににつき一件の申請に限ります)
・団体の場合、法人格の有無は問いません。但し、持続性のある活動団体であることを原則とします。

○助成額:一件あたり、30万円~200万円程度

○お問合せ:
公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団
電話:03-3494-7653
メール:info@polaculture.or.jp



2021年度 地域福祉振興助成

障がい者等を支援する福祉活動やボランティア活動に対する助成を通じて、やさしく住みやすい地域社会の創造に資する事を目的とします。

○募集期間:2021年3月15日(月)16:00まで

○応募資格:
障がい者などを支援する福祉活動、ボランティア活動に取り組む団体・グループ(法人格は問いません)

○対象事業:
障がいにより福祉・生活課題などをかかえる方々への支援を目的とする事業

○助成総額:4,500万円 ※一件あたりの上限額100万円(助成率は助成対象費用の80%以内)

○お問合わせ:公益財団法人 木口福祉財団
電話:0797-21-5150 FAX:0797-35-4500
メール:josei@kiguchi.or.jp



代表理事 小野寺 豊さん



代表理事 小野寺 豊さん

設立目的

東日本大震災の際、石巻地方では写真・地図・古文書などの多くの貴重な郷土史関係資料が家屋流失や損壊などで失われました。データ化など2次保管できないものや、できていなかったものが多く、その歴史的資料の価値損失は計り知れないものとなってしまいました。

そこで、石巻市内の郷土史研究愛好者が集い、民間主導による歴史的・民族的資料の収集と活用、石巻地方の魅力の再認識・次世代への文化継承の責を担うことを目的に2016年に当団体を設立しました。

東日本大震災のような歴史資料の被害を最小限に防ぐための活動として、2次データ化することで資料そのものの消失・滅失を防ぐこと。歴史的郷土史資料を改めて整理保存し、後世へ残すこと。次世代への歴史の伝承によって、これからのまちづくりに活かしていくことを目指して、活動しています。

活動内容

2016年11月、震災で無事だった古地図・古絵図や古い写真などの関係資料を市内旧家・郷土史家中心に持ち寄り、情報交換会を開催。その後、資料収集と編集期間を経て、2017年6月『石巻古地図散歩』を石巻アーカイブ地図研究会として発行しました。

同年11月には『あゝ、松島の空遠く～海軍松島航空基地沿革史～』、2018年2月には『石巻古地図散歩2～昭和34年石巻市・渡波町合併記念石巻商工案内図(復刻版)』を発行。

現在は地図に限らず、写真・絵はがき等の歴史的資料の収集を広く告知し、活用の可能性を探る活動をしています。



MIYAGI1951

2013年、東日本大震災の映像をニュースで見たアメリカ在住のアラン・バトラー氏が『父が昔、沿岸部に滞在していた際に撮影した写真が自宅にある』と連絡をくれました。

それは、アラン氏の父親であり、アメリカ軍軍医だったジョージ・バトラー氏が、1951年3月～12月の9か月間、占領下の松島キャンプ(現航空自衛隊松島基地)に駐留していた際に撮影した、石巻・矢本・仙台・塩竈・松島など宮城県各地の風景や人物を映したカラー写真だったのです。



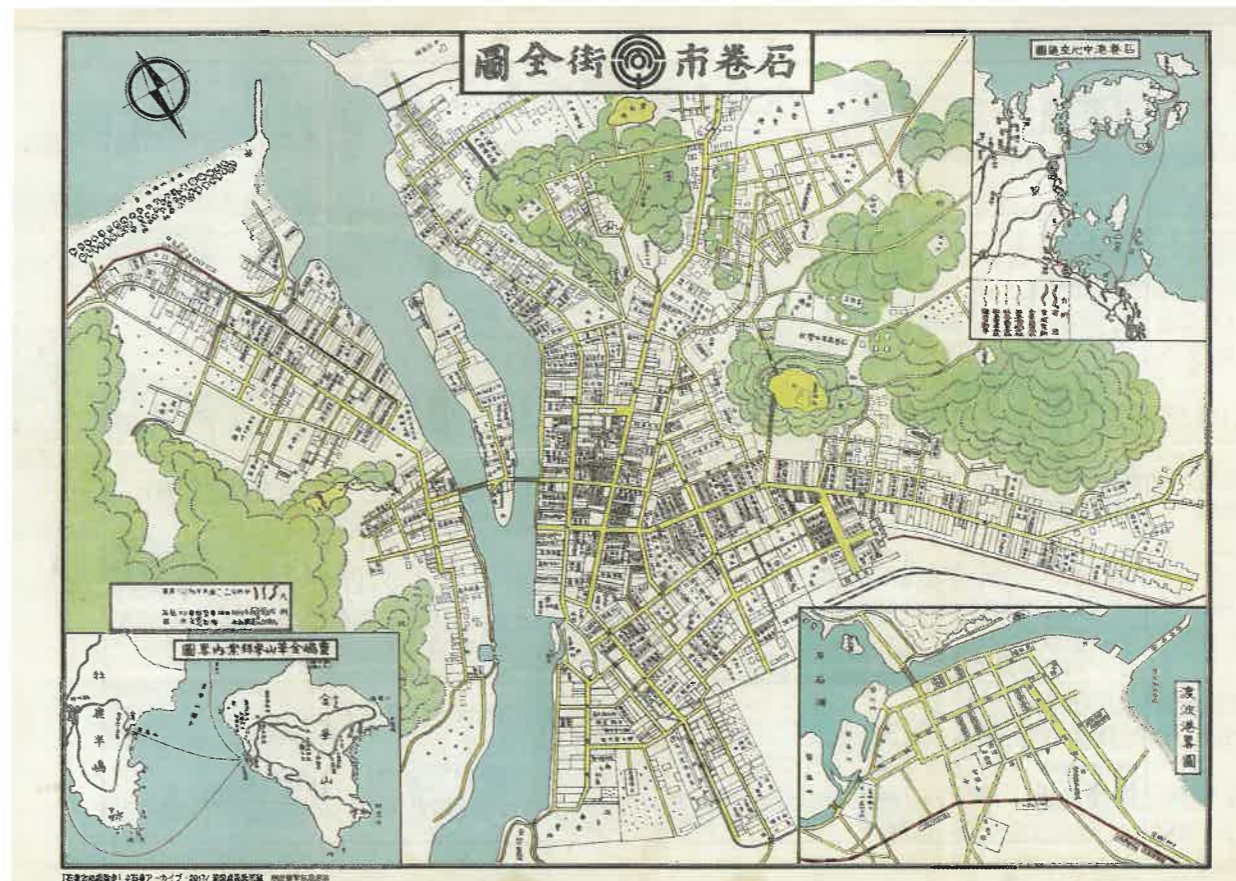
撮影にはすべて、当時の日本では珍しいコダック社製のポジフィルムを使用。

当時の宮城県や東北では現像できる現像所がなく、フィルムをすべてアメリカに送って現像していたため、写真が無事残っていました。

石巻のような東北の一地方でこの時代のカラー写真が残っているのは、本当に貴重なことなのです。

撮影点数は2000枚以上。その8割以上が、東日本大震災で失われた石巻地方の“原風景”のアーカイブといえるものばかりです。私たちはアランさんに送ってもらった写真をもとに、実際にその場所に足を運び、地域の方にお話を聞きながら撮影地の特定をすすめました。

そして2018年7月～カシワヤホールを会場として「MIYAGI1951」と題した写真展を開催。当時の石巻駅前の様子や、紙芝居を見ている子どもたち、衣類販売の露天商、にぎわう大町通り…など、石巻地方を中心とした約160点の写真を展示しました。



来場された市民の方々の反響は大きく、写真を見て「懐かしい～」と喜んで見てくださった方がたくさんいました。震災で写真が無くなってしまったため、自分が写っている写真を譲ってほしいという人や、自分が写った写真を目当てに横浜から来た人もいました。

この写真展は同年8月に東松島市でも開催。三陸河北新報社より冊子も販売されています。

(写真は、ウェブサイト「MIYAGI1951」より閲覧できます)

おらほの町の郷土史づくりプロジェクト

東日本大震災で失われた地域の記憶や資料を後世に残すことを目的として、各地域に特化した「郷土辞典」をつくる取り組みです。石巻心の復興事業補助金を活用しました。

第一回目は2019年10月、門脇、湊、蛇田、渡波の4地域を会場に各三回ずつワークショップを開催。



当団体が保管している各地域の昔の写真や地図などの資料を見ながら、郷土史家である辺見さんや郷土史家の方々から解説をしてもらい、住民の方々からはそれぞれ思い出や、地元の人ならではの貴重な情報など、沢山お話を聞かせてもらいました。また、自宅にあった貴重な資料をもってきてもらい、新しく事実が判明したこともありました。

ワークショップの内容はまとめて、「写真と地図で見る歴史(地名)辞典」と題した冊子を作成。内容は、歴史年表や地区の概要、地名の由来が記載しており、

江戸～昭和の地図、航空写真、昔懐かしい写真などの貴重な資料もまとめてあります。

冊子は各地域ごとに100部ずつ作成し、図書館や公民館、石巻市役所などの各公共施設に設置しています。2020年は中央・住吉、稲井、旧水押・中里・袋谷地の3地域にて同ワークショップを開催。現在、まとめた冊子を制作中です。



活動をしていて、実際に冊子や展示などの形になり、多くの方に見てもらえると、嬉しく思っています。原稿を書く苦労はありますが、人と会っている話をして、聞けることをまず自分が楽しんでやっています。

これからの目標

いろいろなところから写真や地図に関するお問い合わせがくるので、いずれはデジタル化してサイトに公開したいと思っています。昭和浪漫館のような、昭和の石巻を紹介するような常設展示ができる施設を作りたいです。

そして、郷土史家である先輩方の記憶をアーカイブ化して、どうか残しておきたいと思っています。写真一枚や地図を見て伝えられることがあるので、それを未来の多くの人たちに見てもらいたいと思っています。

住所:石巻市水押一丁目4-33
電話:090-3753-5295
メール:dera@wecando.co.jp

